

「ふるさと時代祭り」 台風12号の影響により、 開催断念！

毎年9月1日の八朔祭に合わせて開催される「ふるさと時代祭り」が、今年は台風12号の影響により、中止ということになりました。

このふるさと時代祭りは、昭和57年、市民の方々の「江戸時代より伝承する大名行列を復活したい」という気運の盛り上がりを受け、始まったものです。

その後、谷村第一小学校で開催される多彩な郷土芸能や子ども達の演技発表などが加わり、さらに、葛飾北斎や鳥文斎藤原栄之など、江戸の有名な浮世絵師の手による豪華な飾幕で飾られた4台の祭屋台や宮本神楽が参加し、今や、市内外から多くの方々が訪れ、非常に賑わう郡内地域を代表する祭りとして発展してきました。また、この大名行列は、市外へも出張したことがあり、昭和62年に行われた東京都の板橋区との親善交流においては、板橋の町を練り歩くなど、市外にも誇れる名物行事となりました。

しかし、今年は9月1日朝8時の時点で天候は雨。市内には大雨土砂災害警報が発令されたこともあり、実行委員会にて検討を行い、苦渋の決断として開催を断念することとなりました。

この決定を受け、各関係機関・団体へは中止との連絡を入れましたが、この日のために選ばれた「殿・姫・腰元」の3役については、衣装をまとってもらい、記念撮影をしてもらうこととしました。非常に残念な結果となりましたが、衣装を身に付けた皆さんは、天候とは違い、晴れやかな笑顔を見せてくれました。



■(上段右) 姫役の佐藤紗嘉さん。都留文科大学の4年生です。この日のために、お母さんも茨城県から見えていました。■(上段左) 殿様役の岩下巖さん。有限会社岩下産業の会長さんです。■(中段) 腰元役の皆さん。お籠の前で記念撮影です。■(下段) ちょうどこの日、「グリーンツーリズム」のツアーで都留市を訪れていた、大妻女子大学の皆さんと全員で記念撮影。良い記念になりました。



前日の「宵祭り」は開催。



■(左上) 曳行開始です。開始時には雨も降らず、無事開催することができました。夜の国道に、各町の賑やかなお囃子が響きます。■(左) 大手通りに集合した各町屋台。この頃には少し雨が降り出しましたが、屋台の保護はバッチリです。■(下) 幻想的な提灯の灯りと、賑やかなお囃子。都留の晩夏の風物詩です。



お殿様・お姫様の素顔。



岩下さん
当日は雨で残念でしたが、衣装を着て記念写真を撮影する機会を作ってもらい、良かったです。殿様の衣装などは、着ることはまずできないもので、孫と記念写真を撮ったりなど、非常に良い思い出になりました。
また、お姫様や腰元の方たちも非常に美しく、大変よかったです。これからの地元の方たちのご協力で、より盛り上がるイベントにしていきたいと思います。

岩下 巖(いわした・いわお)さん
有限会社岩下産業会長



佐藤紗嘉(さとう・さやか)さん
都留文科大学初等教育学科4年生
茨城県出身

佐藤さん
大学生活最後の思い出として、大変楽しみにしていたので、中止は残念でした。しかし、衣装を着て記念撮影をすることができて、良かったです。また、母も故郷から来ていたのですが、晴れ姿を見ることができました。姫の衣装を着てみて重たいものなんだな、と感じたのですが、同時にそれ以上に歴史文化の重みを感じました。これからの末長くこのイベントが行われることを期待します。